

財政状況等一覧表（平成18年度）

団体名		(百万円)		
海老名市		標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
		22,705	1,156	23,861

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの） (百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの繰入金	備考
一般会計	33,895	31,646	2,249	1,001	22,810	137	基金から1百万円繰入
普通会計	33,895	31,646	2,249	1,001	22,675	137	基金から1百万円繰入

(注) 1. 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

2. 一般会計及び特別会計は、それぞれの会計ごとの決算数値を記載していますので、会計間の重複を調整した普通会計（最下欄）とは、計に符合しない場合があります。

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの） (百万円, %)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
下水道事業特別会計	3,571	3,163	408	199	15,713	802	-	-	-	
国民健康保険事業特別会計	9,939	9,653	286	286	39	1,087	-	-	-	基金から150百万円繰入
老人保健医療事業特別会計	4,656	4,583	73	73	-	450	-	-	-	
介護保険事業特別会計	3,621	3,418	203	194	-	606	-	-	-	基金から3百万円繰入

(注) 1. 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

2. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業です。

3. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示しています。

4. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示しています。

3 関係する一部事務組合等の財政状況 (百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の負 担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
広域大和斎場組合	502	468	34	34	438	22.1	-	-	-	
高座清掃施設組合	3,839	3,541	298	288	1,178	35.2	-	-	-	
神奈川県市町村職員退職手当組合	4,454	4,282	172	172	-	15.4	-	-	-	
神奈川県後期高齢者医療広域連合	175	111	64	5	-	1.4	-	-	-	

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況 (百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	備考
海老名市土地開発 公社	△ 37	2	1	-	-	-	-	
(財)かながわ健康 財団	14	762	1	0	-	-	-	

(注) 1. 表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合しない場合があります。

2. 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額を記入しています。

5 財政指数

財政力指数	1.16	実質収支比率 (%)	4.4
実質公債費比率 (%)	7.7	経常収支比率 (%)	81.3

(注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3力年の平均値です。